

成果指標				
成果指標	後期高齢者医療保険料徴収率			
指標設定の考え方	保険料の収納状況を示す徴収率を指標とすることで、制度の健全な運営に必要な医療給付の財源確保に対する成果を測る。			
区分年度	24年度	25年度	26年度	目標27年度
目標	100	100	0	0
実績	99.3	99.41	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	3	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	4	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	今後は催告等の送付のタイミング(年金受給月など)や電話勧奨、市民税務課との連携による滞納処分を検討する。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	4	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	滞納者に対する督促、催告、滞納処分等の滞納整理事務を推進し、収納率の向上を図る必要がある。。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

現状のまま継続する。

意見、課題